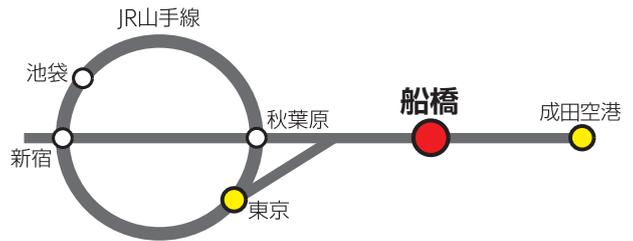


日本語学校 選びの 5つのポイント

場所や価格、イメージだけで決めていませんか!
その学校で、自分の**目的、目標、希望、夢が実現できるか**が重要です。

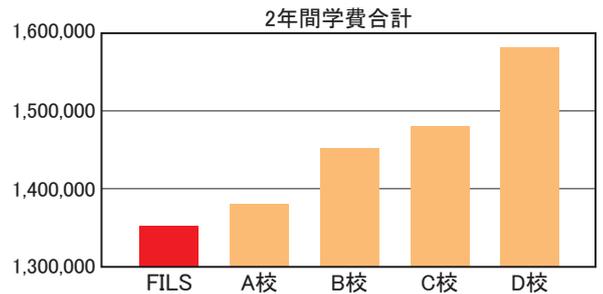
① 場所だけで決めてはダメ!

「東京」は確かに大都市です。しかし、物価が高く、家賃も同様です。2年間の就学期間には相当の費用がかかります。船橋市(人口68万人)は、東京駅から25分、成田空港から43分、世界一の東京スカイツリー(634m)から23分というベストな立地にあります。また、京葉工業地帯にあり、優秀な企業がたくさんある街です。



② 学費だけで決めてはダメ!

「東京」にある日本語学校は学費が割高です。物価が高く、家賃も高いからです。留学総費用(選考料、入学金、授業料、その他)も高いのです。皆さんの貴重なお金です。2年間の合計金額は大変な負担になります。当学院は傷害保険料、基礎科目授業料も含んでいます。寮費もリーズナブルです。



③ 教育システム(カリキュラムや講師)を嚴重チェック!

日本語学校にもいろいろあります。学生の皆さんは貴重なお金(費用)を自分に投資しています。費用対効果(cost performance)が重要です。当学院では年間800時間のレベルにあった質の高い授業内容と、3ヶ月

に1回の学内テストにより、クラス編成を行っています。超ベテランの先生が基礎科目を担当し、それぞれの学生の皆さんの目的、目標、希望、夢実現のために個別の進路指導を実行しています。

④ 学生の立場になっているサポート・フォロー体制ができているかをチェック!

大学・大学院・専門学校進学など、皆さんの目標を実現するために、日本語能力別にぴったり合うクラス編成を行っています。日本語能力試験対策及び留学試験のための基礎講座も実施しています。また、進学、進路、

生活指導も学生のニーズ、価値、満足の実現をするために、365日24時間連絡が可能でサポート・フォロー体制に万全を期しています。

⑤ 数カ国の学生に偏在していないかをチェック!

学生の皆さんは日本で日本語を学習し、日本の大学、専門学校に入学し、自分の目的、目標、希望、夢を実現します。母国の学生が多いと、母国語で会話をしまい、日本語の上達が遅れます。多国籍の学生が多い

と、日本語も学習し、アジア・ヨーロッパの友達もできます。時代はグローバルです。グローバルの友達が2年間でたくさんできます。当学院では20カ国の学生が日本語を勉強しています。